



エコアクション21

環境活動レポート『2013年度版』
(対象期間:2013年4月1日~2014年3月31日)



Unit Wrapping Material Co, Ltd.

株式会社 **ユニット包材**

発行日 2014年4月23日

改定日 2014年7月10日

<目次>

1. 事業概要	P-1
2. 環境方針	P-2
3. 環境負荷目標・実績（2012年～2014年）	P-3
4. 2013年度の環境保全活動状況	P-3
（中期計画：2016年度迄）		P-4
		P-5
		P-6
		P-7
		P-8
5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P-9
		以上



事業概要

- 事業所名 株式会社 ユニット包材
- 設立 1986年1月
- 資本金 5,000万円
- 代表者 代表取締役社長 東野 和彦
- 所在地 〒630-8452
奈良市北之庄西町2丁目4-3
- 連絡先 TEL：0742-62-6041 FAX：0742-62-3830
Eメール：unit_east007@yahoo.co.jp



- 環境保全関連責任者及び担当者

最高管理責任者	代表取締役社長	東野 和彦
環境管理責任者	企画管理部長	大中 正美

■事業内容

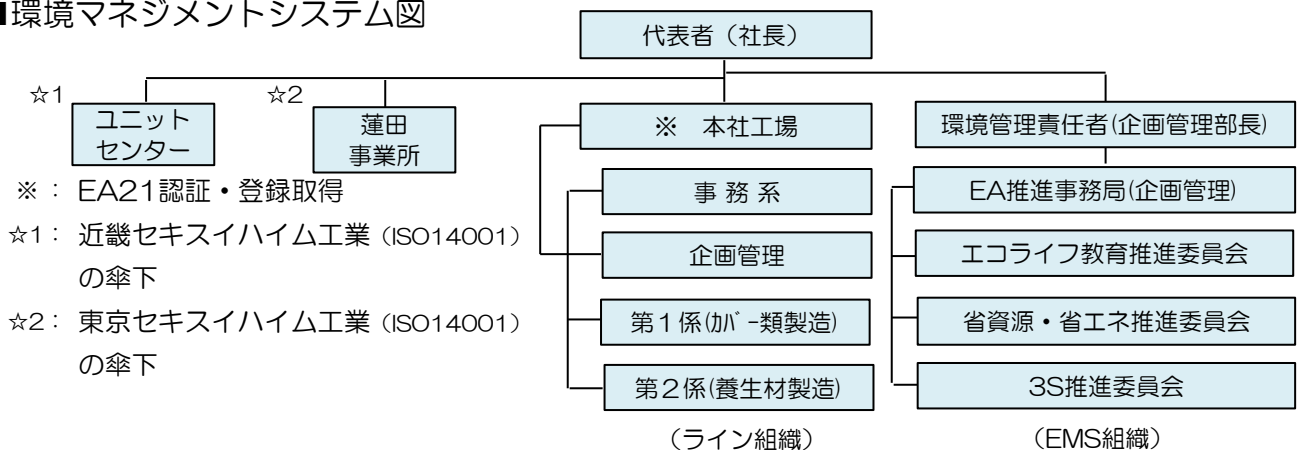
- ◇ユニット住宅の養生カバー類の企画・製造・販売
- ◇ユニット住宅の階段、建具類、陶器類養生材のケース類企画・製造・販売
- ◇一般用（防音シート、トラック用幌、コンテナバック他）の企画・製造・販売
- ◇一般用（テントハウス、カーポート、開閉式テント、デザインテント他）の企画・製造・販売



■事業規模

項目	年度			
	単位	2011年度	2012年度	2013年度
生産量	t	664.5	676.2	656.8
売上高	百万円	230.3	223.7	229.5
従業員数	人	15	14	16
床面積	m ²	530.5	530.5	530.5

■環境マネジメントシステム図



環境方針

〔基本理念〕

当社はエコ住宅建設業の一翼を担う、ユニット住宅用資材の製造事業を通じ、「人々の快適な暮らしと健康」と「地球環境への調和」をモットーに、全従業員が一丸となって、環境負荷削減に積極的、且つ継続的改善に取り組み、持続可能な社会の実現を目指し、地球環境保全の促進に努める。

〔基本方針〕

1. ユニット住宅用梱包資材の製造・営業工程に於ける環境負荷を削減する。並行して『SQC活動(安全・品質・コスト)』を強力に推進する。
 - ①省資源、省エネルギーを推進する。
 - ②廃棄物の減量化、再資源化（3R）を図る。
 - ③製品又はサービスの環境配慮に努める。
 - ④環境にやさしいグリーン購入適合品の使用に努める。
 - ⑤化学物質使用量の改善（保管及び管理）
 - ⑥本活動を通じコストリダクションを進める。
 - ・生産性向上（工数削減）・内作化の推進
2. 1. の環境負荷削減を実行するための活動計画を、具体的な目標を策定、実施、その進捗状況を定期的に評価し改善を進める。
3. 全従業員に、環境改善のための教育・訓練を計画的に実施する。
4. 地域との融和を図り、環境に関する法規制等の要求事項を遵守、誓約する。
5. 全従業員には掲示や会議等で周知徹底する。
6. この環境方針は社外にも公表する。

制定日：2006年5月20日

改定日：2012年10月1日

改定日：2014年6月16日



株式会社 ユニット包材
代表取締役社長 東野 和彦

環境負荷目標・実績 (2012年~2014年)

☆主要環境負荷の把握

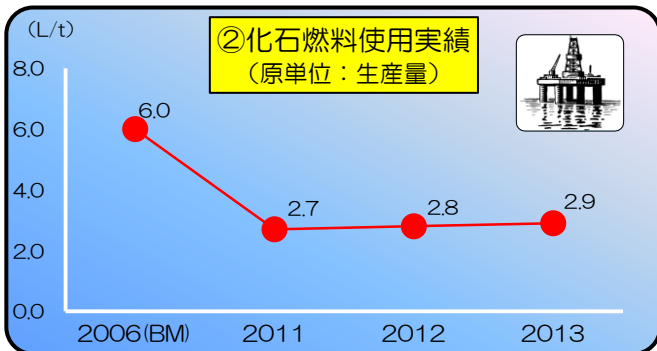
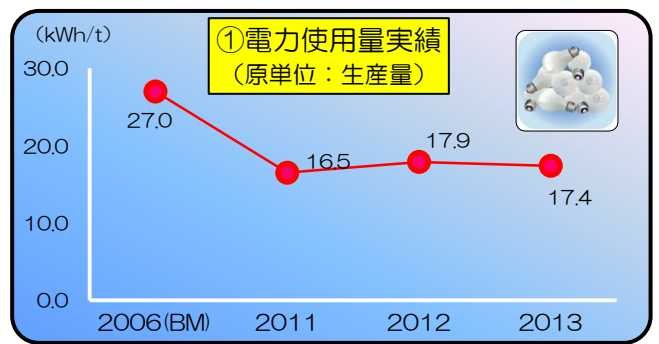
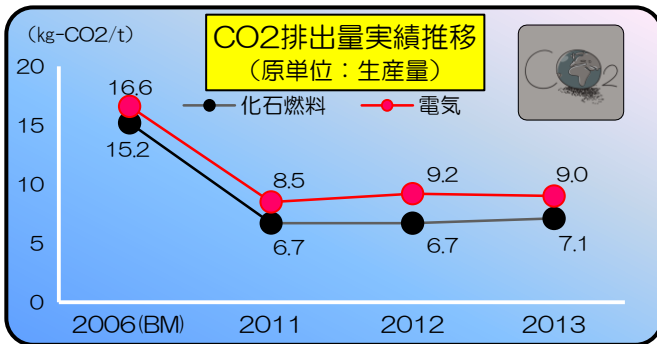
1. 二酸化炭素 (CO2) 排出量

項目	単位	2012			2013			2014	
		目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	前年対比
電力使用量	kWh	10,650	12,089		11,726	11,454		11,225	
	kg-CO2	5,474	6,213	88.1%	6,027	5,887	102.4%	5,770	2.0% ↓
ガソリン使用量	L	770	892		865	885		867	
	kg-CO2	1,787	2,070	86.3%	2,008	2,055	97.7%	2,014	2.0% ↓
軽油使用量	L	140	100		0	0	0	0	
	kg-CO2	367	262	140.1%	-	-	-	-	-
灯油使用量 (12月~3月のみ)	L	823	882		856	985		955	
	kg-CO2	2,051	2,198	93.3%	2,132	2,455	86.8%	2,380	3.0% ↓
液化石油ガス使用量 (LPG)	kg	22	31		30	45		42	
	kg-CO2	66	93	71.0%	90	135	66.7%	126	5.0% ↓
合計	kg-CO2	9,745	10,836	90.4%	10,257	10,532	97.4%	10,290	
	CO2/t		(16.0)			(16.0)			

() = 原単位: kg-CO2/tの数値 注) CO2排出係数(関電): 0.514-CO2/kWhで換算
関電の2012年度の係数で換算した

2013年度迄の環境保全活動状況

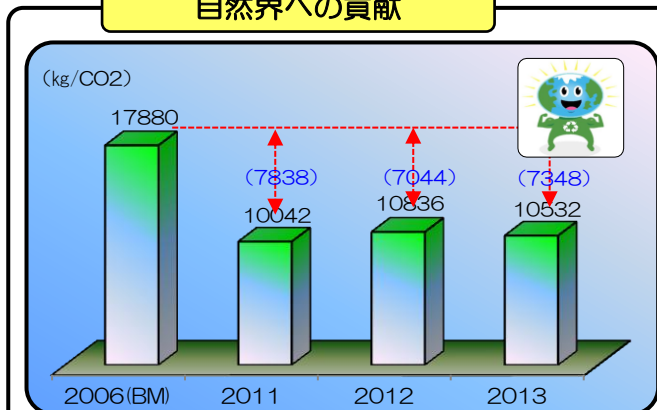
1. 二酸化炭素 (CO2) 排出量削減活動



<活動内容及びコメント>

- ◇電力
 - ・不必要時、照明、機械の電源OFF徹底
 - ・クーラー温度管理、事務所前グリーンカーテン
 - ・エアコンフィルターの定期清掃
- ◇化石燃料
 - ・燃費の良いトラックに更新
 - ・エコドライブの順守
 - ・ジェットヒーターのタイマー管理の順守
 - ・極寒による暖房時間(灯油量増)が増えた

自然界への貢献



※CO2削減:
過去3年間で22,230kg/CO2を削減出来た。

奈良県の銘木、吉野杉1本が吸収するCO2量: 6.55kg/CO2で換算すると3,394本に相当する事が出来た。

「22,230kg/CO2削減」

吉野杉 (40年もの)

3,394本



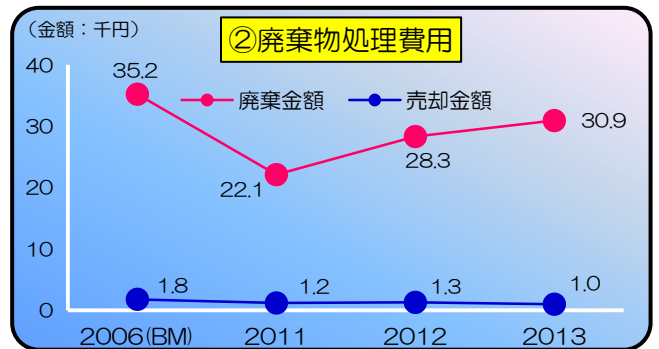
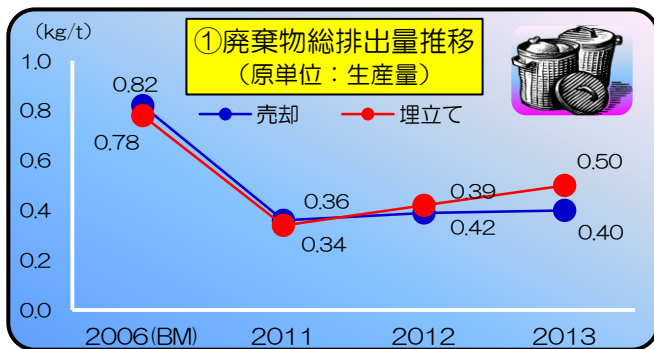
2013年度迄の環境保全活動状況

2. 廃棄物総排出量の状況

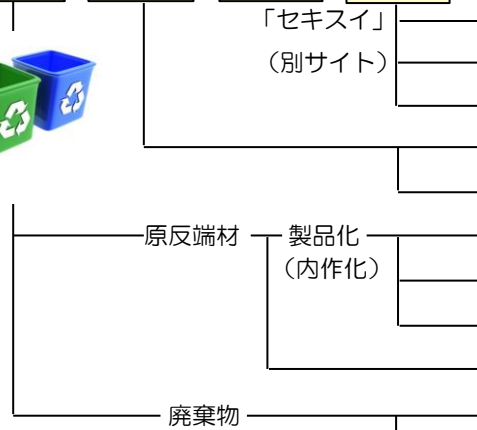
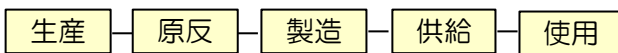
項目	単位	2012			2013			2014		
		目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	前年対比	
紙類(売却)	kg	159.3	154.0	103.4%	149.4	146.9	101.7%	142.5	3.0% ↓	
段ボール(売却)	kg	72.8	110.0	66.2%	107.0	100.6	106.4%	97.6	3.0% ↓	
廃プラ(埋立)	kg	101.4	142.0	71.4%	138.0	166.5	82.9%	163.2	2.0% ↓	
ゴム(埋立)	kg	19.3	5.0	386.0%	4.8	2.4	200.0%	2.3	2.0% ↓	
ゴミ・糸くず(埋立)	kg	76.2	119.0	64.0%	115.4	132.5	87.1%	129.9	2.0% ↓	
金属(埋立)	kg	12.5	17.0	73.5%	16.5	7.2	229.2%	7.1	2.0% ↓	
合計	(売却)	kg	232.1	264.0	87.9%	256.4	247.5	103.6%	240.1	3.0% ↓
	(埋立)	kg	209.4	283.0	74.0%	274.7	308.6	89.0%	302.5	3.0% ↓
		kg	441.5	547.0	80.7%	531.1	556.1	95.5%	542.6	
		kg/t		(0.8)			(0.8)			

() = 原単位: kg-CO2/tの数値

2. 廃棄物総排出量削減活動



◆ 廃棄物削減活動 (material flow)

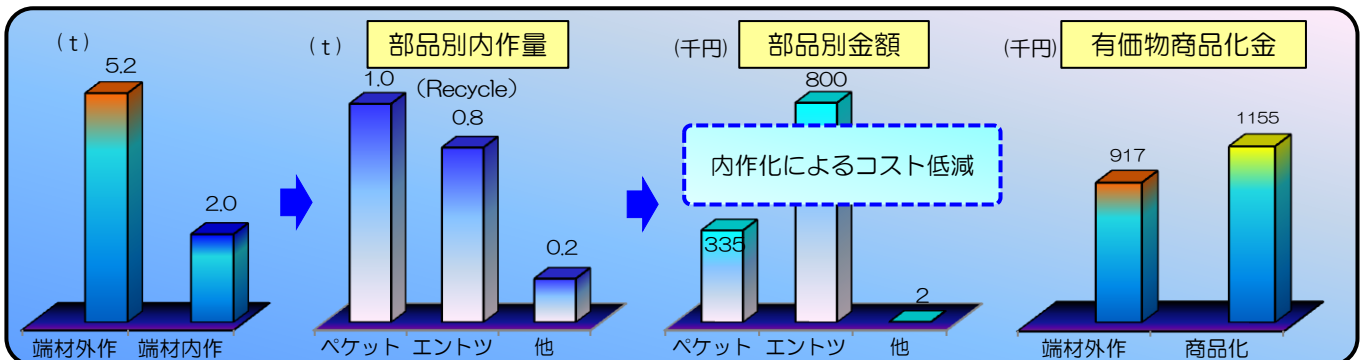


<活動内容>

- ◇ 原反端材での内作化継続 (エントツ、ポケット他)
- ◇ 原反端材(有価物)の有効利用(商品化)

回収品利用	Revolve	229.5 t	
破れ・折れ・他修理	Reuse	2.9 t	
修理不可(有価物)	Recycle	4.1 t	
紙	売却	147kg	0.6千円
段ボール	売却	101kg	0.4千円
ポケット	内作	1.0 t	335千円
エントツ	内作	0.8 t	800千円
帯・他	内作	0.2 t	20千円
不良端材(有価物)	Recycle	1.1 t	
廃プラ	Scrap	167kg	16.7千円
ゴム(半端)	Scrap	2.4kg	0.2千円
ゴミ・糸くず	Scrap	133kg	13.3千円
金属	Scrap	7.2kg	0.7千円

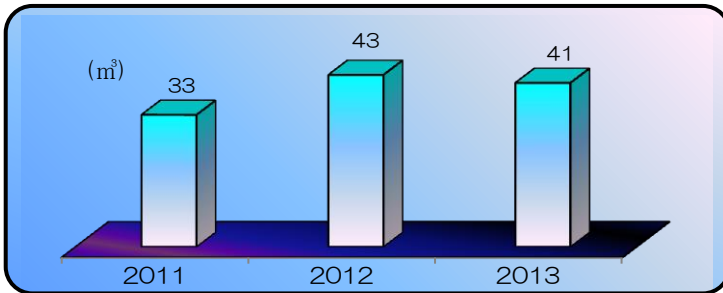
◆ 原反端材活用 (外作・内作化)



2013年度迄の環境保全活動状況

3. 総排水量の活動状況

項目	単位	2012			2013			2014	
		目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	前年対比
総排水量	m ³	31	43	72.1%	35	41	85.4%	38	7.0% ↓

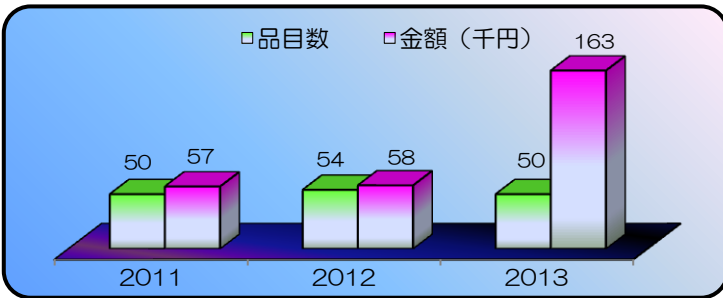


- ＜活動内容＞
- ◇ 節水意識の向上（節水シールの活用）
 - ◇ 水の垂れ流しをしない
 - ◇ 手洗い時水道の水量に注意を喚起



4. グリーン購入

項目	単位	2012			2013			2014	
		目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	前年対比
グリーン商品購入	千円/品目数	50/50	58/54	100%	50/50	163/50	100%	180/55	100% ↑



- ＜活動内容＞
- ◇ 環境配慮製品の選択的使用（事務用品、作業着等）
 - ◇ 再生品の利用拡大（コピー機トナーリサイクル）



5. 製品・サービスにおける環境配慮

◇ 省梱包化の推進及びS社との新養生材共同推進

項目	取組み内容		
1. 簡易梱包の推進			
2. 通い箱の推進			
3. 新養生材の提案とS社との共同推進			

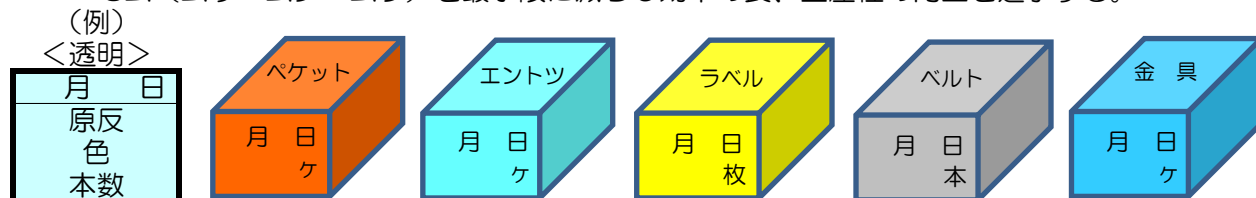
2013年度迄の環境保全活動状況

6. コスト低減活動

『レインボーPlan』

説明：色分けしたBOXに翌日、翌々日に生産する製品の部品を日別毎に収集して製造ラインの作業者手元に置き、その部品を使い製品を完成させる。

3M（ムリ・ムダ・ムラ）を最小限に減らし効率の良、生産性の向上を追求する。



◇レインボーPlan実施による生産性向上活動（ハイムカバー36標準で評価）

作業項目	縫製標準時間	2012	2013.0	評価
		第1回改善	今回改善	
石づけ（割）大	1分20秒	1分00秒	1分00秒	
石づけ（割）小	27秒	27秒	27秒	
ペケット（帯）大	1分30秒	1分20秒	1分10秒	△10
ペケット（帯）小	30秒	30秒	25秒	△5
ペケット（割）大	2分40秒	2分30秒	2分15秒	△15
ペケット（割）小	36秒	35秒	30秒	△5
エントツ（天井）	1分45秒	1分40秒	1分35秒	△5
溶着（天井）	1分25秒	1分25秒	1分25秒	
帯+割（小）	1分28秒	1分25秒	1分25秒	
帯+割（大）	30秒	30秒	30秒	
仕上げ	4分00秒	3分40秒	3分40秒	
合計	16分20秒	15分10秒	14分30秒	△40

(n数：20枚)

生産性の向上
（5%の改善）

7. 工場美化運動「お魅せできる工場づくり」と地域社会との共済

- ◇工場内3S活動の推進（区画整理、部品表示方法の見直し）
- ◇近隣周辺の美化運動（特に溝のゴミ、空き缶、草引き等）
- ◇景観を良くするため原反置き場の倉庫建て替え



8. 防災・ゼロ災活動

- ◇火災、地震、水害等の対応として、定期的な訓練の実施。
- ◇消火器周辺の整理、整頓
- ◇2F開口部の安全確保
- ◇避難梯子周辺の通路確保（足場台設置）



9. 2013年度の代表者の全体評価

◇2013年度の環境活動の評価は異常気象（猛暑、極寒）の為か、省資源、省エネルギー活動が目標未達となっている。今後異常気象による対策を考慮し活性化を図ること。
SQC活動の3S及び品質向上に於いては取組みの積極性は伺えるが、今一歩努力する必要がある。今後は達成出来ない項目については更なるOJT教育を中心とした実践並びに確認の徹底を遂行する様に。
2014年度は住宅産業は厳しい状況になると予想されるが、ただ新製品の受注もあり今後はバリエーションを拡大したい。また、当社のホームページも作成し営業戦略の一環としてネットで公表して行きたい。

2013年度迄の環境保全活動状況

☆環境活動の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容

評価は次の5段階で実施した。

5：100%実施出来た。 4：75%程実施出来た。 3：50%程実施出来た。

2：25%程しか実施出来なかった。 1：実施出来なかった。



(1) 二酸化炭素排出量の削減

活動内容	評価	今後の対策	次年度取組
不必要時、照明、機械、パソコンの電源のOFF徹底	4	速やかな電源OFFを徹底する	○
クーラー及びジェットヒーターの温度管理	4	夏季：28℃、冬季：18℃の管理に努力する	○
エアコンフィルターの定期清掃	3	日程を決め管理する（夏季・冬季1回/月）	○
エコドライブの徹底	4	常に意識を持ちエコドライブに努力する	○

(2) 廃棄物排出量の削減

活動内容	評価	今後の対策	次年度取組
原反端材の内作化継続	4	内作化の継続及び拡大	○
原反端材（有価物）の有効活用	3	端材の削減と有効活用	○

(3) 水道使用量の削減

活動内容	評価	今後の対策	次年度取組
節水意識の向上（節水シール活用）	3	注意及び呼び掛け節水に努力する	○
水の垂れ流しに注意	3	同上	○
手洗い時水量に注意を喚起	3	同上	○

(4) グリーン購入の拡大

活動内容	評価	今後の対策	次年度取組
環境配慮商品の選択的使用（事務用品、作業着等）	4	拡大品の調査と実施	○
再生品の利用拡大（コピー機トナーリサイクル）	5	継続して購入する	○

(5) 環境配慮活動

活動内容	評価	今後の対策	次年度取組
省梱包化の推進	4	省梱包化商品の拡大と情報収集	○
環境に配慮した新商品の拡大	4	新商品企画・提案 S社との共同推進	○

10. 中期計画

☆仕事の原点に立ち返り、安全・3S・品質・コスト『S・Q・C活動を展開する』

S：安全、3S（整理・整頓・清掃）
 Q：品質レベル向上
 C：コスト低減



管理項目	取組み内容	目標		
		2014年度	2015年度	2016年度
◇二酸化炭素排出量の削減	・現状の活動を継続	(前年度対比)	(前年度対比)	(前年度対比)
	・採光を検討する *	2% ↓	2% ↓	2% ↓
◇廃棄物排出量の削減	・現状の活動を継続	(前年度対比)	(前年度対比)	(前年度対比)
	・原反端材、残材再利用（内作化） *	2% ↓	2% ↓	2% ↓
◇総排水量の削減	・現状の活動を継続 *	38m ³ /年 ↓	35m ³ /年 ↓	35m ³ /年 ↓
◇グリーン商品購入の推進	・グリーン商品を優先購入 *	(前年度対比) 3% ↑	(前年度対比) 3% ↑	(前年度対比) 3% ↑
◇化学物質使用	・保管方法管理、教育	現状維持	現状維持	現状維持
◇安全「ゼロ災の推進」	・ヒヤリハットの抽出（5件/月 ↑）	ゼロ災達成	ゼロ災達成	ゼロ災達成
	・防災訓練の実施（2回/年）			
◇3Sの実践強化	・レベル3の維持	指定席 維持	指定席 維持	指定席 維持
◇品質不良減少	・クレーム減少	0件	0件	0件
	・場内手直し減少	0件	0件	0件
◇コスト低減	・内作化の推進	(前年度対比) 5% ↑	(前年度対比) 5% ↑	(前年度対比) 5% ↑
	・作業効率向上	(前年度対比) 5% ↑	(前年度対比) 5% ↑	(前年度対比) 5% ↑

*：2013年度に設定した中期計画目標値の変更（2014年、2015年度）

<変更理由>

過去3年間の実績及び今後の方向を踏まえ目標値の見直しを行った。

11. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規調査

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況等
<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律 	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処理業者、収集運搬業者との契約書締結が必要であり、マニフェスト管理（要） 産業廃棄物管理表(マニフェスト)交付等状況報告書の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処理委託契約書 収集運搬業者との契約書の締結 マニフェスト管理を徹底した。 毎年6月30日までに奈良市長へ管理表の報告を行った。
<ul style="list-style-type: none"> 奈良県生活環境保全条例 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の使用等の努力（排出ガスの排出の抑制） 自動車騒音の発生防止（自動車の運行に伴う騒音の防止） 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車運転管理手順書の遵守
<ul style="list-style-type: none"> 消防法 	<ul style="list-style-type: none"> 火災発生時の通報、消火活動 避難訓練の実施 消防設備の点検（消火器有効期限等） 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応手順書（緊急事態への準備対応） （火災発生時の対応）の遵守
<ul style="list-style-type: none"> 消防法（危険物）（第4類 第1～第4石油類） 	<ul style="list-style-type: none"> 適正な保管管理 緊急時の対応（火災発生時の消火方法） 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外ストッカー施錠して保管遵守 ストッカーに火気厳禁、又取扱い責任者の表示を行った。 初期消火訓練時に全員へ粉末消火器使用教育実施
<ul style="list-style-type: none"> PRTR制度 	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質等の適正管理（使用量、保管量の把握及び保管管理、取扱いの教育） MSDSの適正管理 溶剤等取扱い時の教育 	<ul style="list-style-type: none"> 法規制等定期評価チェックリストに明記し保管管理の遵守、取扱い時の教育の実施を行った。 MSDSに基づいて保護具等の着用の遵守、教育の実施 保護具の定期点検の実施
<ul style="list-style-type: none"> 省エネ法 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 使用実績の把握と原単位管理 改善の検討と実行
<ul style="list-style-type: none"> グリーン購入法 	<ul style="list-style-type: none"> グリーン商品購入の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮製品の選択的使用

2. 2013年度分、産業廃棄物管理票報告書 2014年6月16日奈良市長へ提出する予定。

3. 遵守状況等について

- ・自社関係において違反はありませんでした。
- 又、関係機関等からの苦情、指摘も認証登録以降今日までありませんでした。
- 尚、当社は騒音・振動規制法、大気汚染防止法等は特定施設でない為に該当しない。

4. 環境レポート次回発行予定（2015年5月）

以上